

# 横須賀で水辺清掃イベント

## 日釣振 神奈川県支部が放流と釣り教室も

(公財)日本釣振興会 神奈川県支部(山口充支部長)では、横須賀荒崎海岸「なんやの浜」周辺で去る10月20日、「水辺感謝の日」全国一斉釣場清掃デーに合わせて稚魚放流、釣り教室を実施。

日釣振神奈川県支部による「水辺感謝の日」のイベントとして今回は釣場の清掃とクロダイ稚魚放流など実施して小学生

を中心とした多数の家族連れなど参加した。まず水辺の清掃は、宝探しゲームも取り入れ、また、主婦の喜ぶ家庭用消耗品など景品も付いて参加者も盛り上がった。

この荒崎海岸「なんやの浜」の周辺にある休憩場や公衆トイレなどは地元漁協や地域の未来を考える会の人たちが美化啓蒙活動に普段から力を

注いでいるため綺麗な環境が保たれていることが一目でわかる。これに関して、長井町漁業協同組合の小澤紳一郎組合長は「どんどん釣人も来て釣りを楽しみ、みんなで美化を守り続けられれば、これからも海を楽しめる場所になる」と語っており風情のある景色は何度も来たくなる場所である。それから、清掃を終了

した後、クロダイの稚魚5000匹の放流を実施した。この今年の5月に産まれたクロダイ稚魚は参加者の子供たちの手によつて放流した。清掃と放流が終わった後は㈱ヤマリアの協力で、エギ作り教室、ペーパーフィッシングを行って、参加者は楽しんでた。

また、屋台形式で海産物、イカ焼きなど軽食の安価提供で場を盛り上げ、これを大勢の人々が集まってくると感じた、日釣振神奈川県支部の事務局は報告している。ちなみに今回、小学生以下80名を含む140名が参加した。その参加者は日釣振の活動に賛同しており、今後も横須賀・長井の荒崎海岸の景色を楽しんでくれるはず、と期待している。

横須賀・荒崎海岸でクリーンアップ、クロダイ放流、ヤマリアによるエギ作り教室

